

ベトナム戦争（テト攻勢）を経験した橋①

ベトナム戦争は、1965年にアメリカ軍が北ベトナムのハノイの爆撃を始めてから1975年の撤退まで10年余り続き、中でも、1968年のテト攻勢は事実上、南ベトナムを支援していたアメリカ軍の敗北を決定付けた戦いと思われ、テトとは旧正月の祝日期間のこと、北ベトナム軍双方、暗黙のうちに休戦期間とする慣例があったそうです。ところが、北ベトナム軍は1968年1月30日夜、不意を突いてベトナム全土にわたって攻撃を仕掛けました。この時は両サイドに歩道が追加



トランティエン橋



トランティエン橋

爆破された

橋に残る戦争の傷跡  
トランティエン橋は、1899年にフランスのエッフェル社の設計で建設された美しい橋です。橋梁形式はプラットトラス形式で、1937年に

## 橋を経験した戦争士が語る

### ⑧ 橋に残る戦争の傷跡

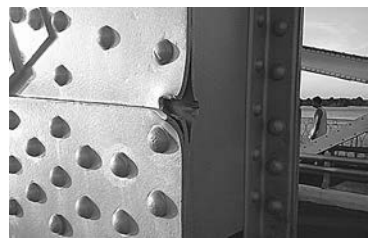
クとなつています。建設後間もない1904年には洪水で一度流されていますが、1906年に修復されています。2014年、私は現地

を訪れて当時の記録写真と重ね合わせて爆破はどこで行われたのか確認をしました。そして市街地側から3番目のコンクリート橋脚が新しく、当時の写真で二径間のトラス桁が拝みあうように河川内に落ちていることか、爆薬が仕掛けられたのはこの橋脚と確信しました。再建は簡単に言えばこの二つのトラス桁を持ち上げ、橋脚を間に作り直して再設置すればよいことになりま。そこで、川の中からのように持ち上げたのか、その工事跡が見られないか探しました。再建、補修の跡は

容易に見つかりました。明らかに爆破によるものとは異なる傷跡も多々見つけることができました。それは銃弾が鉄骨を貫通している跡です。いつこの傷跡がついたのかは不明ですが、弾が飛んできた方向は空からと思われる、アメリカ軍の攻撃機からの被弾ではないかと推定しました。それにしてもさまじい威力で、4枚重なった鉄板を貫通して橋を作り、維持するとは考えてきませんが、橋を破壊することには無知であったことを知りました。



弾丸の貫通したトラス部材



弾丸がかすめたトラス部材